

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 由仁町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

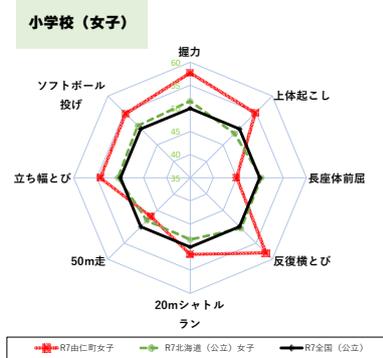
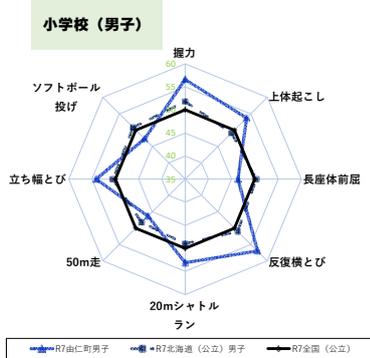
学校数：小学校1校・児童数32名、中学校1校・生徒数32名

○ 実技に関する調査の状況 ※実技調査の数値において、各種目の男女全国平均値を50とした場合（T得点）で表示

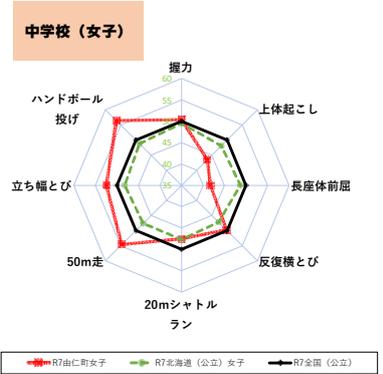
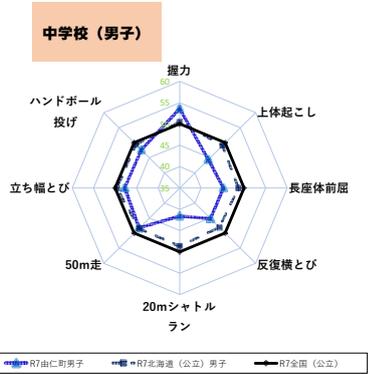
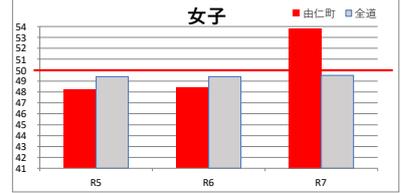
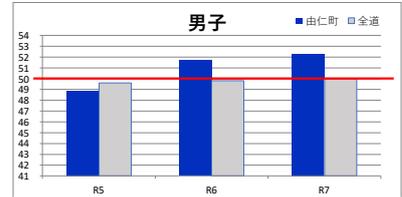
【各種目の記録及び体力合計点】

小学校										中学校									
小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点	中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7由仁町男子	56.6	53.7	46.4	57	53.1	46.3	54.1	47.3	52.3	R7由仁町男子	53.6	44.4	45.2	45.2	41.6	48.3	47.8	47.6	46
R7由仁町女子	57.7	54.8	45	58	51.6	46.9	54.3	54.6	53.8	R7由仁町女子	50.4	43.5	41.7	49.8	47.5	54.6	52.5	56.4	50.5
R7北海道（公立）男子	51.8	49.1	50.3	51	49	48.2	50.5	50.8	50	R7北海道（公立）男子	50.5	49.1	48.7	48.1	48.7	48.4	49.6	49.4	48.8
R7北海道（公立）女子	51.6	48.5	50.3	50.5	48.4	48.1	50.5	50.9	49.5	R7北海道（公立）女子	49.5	48.1	48.7	47.2	47.7	47.6	48.2	48.8	47.6
R7全国（公立）	50	50	50	50	50	50	50	50	50	R7全国（公立）	50	50	50	50	50	50	50	50	50

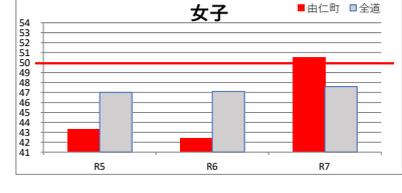
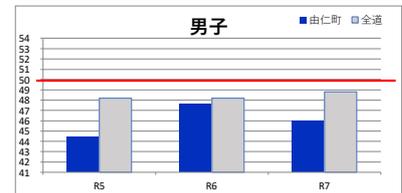
【レーダーチャート】



【体力合計点における全国平均との差の推移（小学校）】

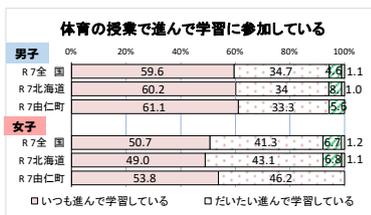


【体力合計点における全国平均との差の推移（中学校）】



○ 質問調査に関する状況・分析

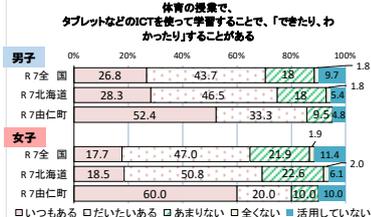
【児童質問紙】



【調査結果の分析】

小学校では、体育授業において目標の提示・振り返りを行う等の指導の工夫により、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい・やや楽しい」と感じる児童及び「体育の授業で進んで学習に参加している」と自己評価を行うことができた児童が全国及び全道平均を上回ったと考えられる。

【生徒質問紙】



【調査結果の分析】

中学校では、体育授業において毎時間ICTを活用し、知識・技能に関する指導の工夫を行ったことにより、身近であるタブレット等の活用が生徒の運動に対する苦手意識を軽減し、助け合いを行う余裕を生み出した結果、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる生徒が全国及び全道平均を上回ったと考えられる。

【学校質問紙】



○ 由仁町の体力向上策

- ◎ 体力向上、運動習慣の定着を図るため、全学年での新体力テストの実施及び結果分析に基づいたICT等の活用による授業改善の推進
- ◎ 縄跳びや持久走トレーニングによる1校1実践に関する取組の一層の充実
- ◎ スポーツ協会や連携協定を締結した学校等と連携した社会体育事業の実施、参加機会の確保及び情報提供の充実
- ◎ 家庭や地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発の推進